

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174340	観光情報発信事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		51,078	65,122		14,044
財源内訳	国費	0	14,218		14,218
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	11,000	16,000		5,000
	一般財源	40,078	34,904		-5,174

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

観光誘客を通じ交流人口を拡大するために必要な情報発信の機会として、観光キャンペーンや広告宣伝を実施する。

事業概要

花巻観光協会が行う情報発信事業への支援 43,418千円
 キャンペーン等誘客、ポスター・パンフ等宣伝、人件費等管理費に対する支援
 関係団体負担金 2,811千円
 いわて観光キャンペーン推進協議会、岩手県観光協会ほか、関係機関への負担金
 観光協会の閑散期誘客キャンペーンへの支援 6,000千円
 イーハトープ大使によるPR 175千円
 市が依頼した大使による、主要都市での観光宣伝への支援
 体験型観光推進事業補助金 600千円
 体験型コンテンツの新規開発および改良への支援
 観光パンフレット、ポスター等の作製 10,583千円
 電照広告掲出 770千円
 映画・ドラマ等ロケ誘致 760千円
 研修会等への参加 5千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

・閑散期の宿泊施設利用促進については、花巻観光協会より要望あり

事業手法の詳細 1

観光情報の発信 43,418千円（前年度比+14,218千円）
 ・（一社）花巻観光協会に対する、誘客・宣伝・管理費等への支援

関係団体負担金 2,811千円（前年度比+138千円）
 ・いわて観光キャンペーン推進協議会負担金 754千円（前年度比+80千円）
 ・岩手県観光協会負担金 2,047千円（前年度比+58千円）
 ・田瀬湖利用機関関係連絡会負担金 10千円
 温泉所在都市協議会負担金 10千円は一般行政経費へ

宿泊施設利用促進事業 6,000千円（前年度比±0）
 花巻観光協会が行う閑散期対策としての市内宿泊施設への誘客キャンペーンを支援
 ・9月閑散期対策としてワインツーリズムや花巻まつりをウェブ広告によりPR
 ・冬の閑散期対策としてスカイランタンをOTAやウェブ、サイネージ等を活用しPR

イーハトープ大使によるPR 175千円（前年度比 45千円）
 主要都市においてイーハトープ大使を通じ花巻の魅力や観光をPR、誘客促進を図る
 謝礼金（記念品）175千円
 体験型観光推進事業補助金 600千円（前年度比±0千円）
 体験型コンテンツを創出・改良する取り組みを支援（初期投資支援）。
 3事業者×200千円（上限）=600千円

観光パンフレット等作製業務 10,583千円（前年度比 798千円）
 パンフレット、ポスター、マップ等の作製

映画・ドラマ等ロケ誘致事業 760千円（前年度比+6千円）
 映画、ドラマ等のロケを誘致するための活動を行う
 ・ロケハンや関係者との調整等、映像制作における制作者への協力
 ・ガイドブックや市HP掲載による情報発信
 ロケーション画像撮影の業務委託 660千円
 ・JFC事業への参画（ロケ地フェア、JFCからの情報提供による誘致活動）
 旅費0千円 JFC会費100千円

電照広告（カラーコルトン）掲出 770千円（一般行政経費からシフト）
 いわて花巻空港内に電照広告を掲出、空港利用者に花巻の観光素材（現在は早池峰神楽）をPR
 掲出料770,000円

研修会や物産展等への参加 5千円（一般行政経費からシフト）

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174340	観光情報発信事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174400	外国人観光客誘致促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		9,656	13,680		4,024
財源内訳	国費	3,676	6,788		3,112
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	5,980	6,892		912

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度

部重点施策における目標					
-------------	--	--	--	--	--

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯					
------------	--	--	--	--	--

訪日外国人観光客が増加し続けているなか、東北地方への誘客の取り組みや受入態勢整備が遅れていることから、対応が急務となっている。

事業概要					
------	--	--	--	--	--

関係団体（事業）負担金 404千円 北東北三県観光立県推進協議会への負担金等
 外国人観光客誘致促進事業 4,500千円 花巻観光協会が取り組むインバウンド事業への支援
 商談会等への参加 0千円 国内外で開催される外国人観光客誘致商談会への参加等
 外国人観光客広域誘致事業 0千円
 外国人の誘客促進のため遠野市、奥州市、平泉町と広域的に連携しコンテンツを充実強化
 公共施設等外国人観光客受入環境整備 8,485千円
 観光地の公衆トイレ洋式化、外国人案内所の非常用電源の整備 不採択
 外国人観光客受入環境整備 291千円 音声翻訳機リース料やQRコード決済にかかる決済手数料

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
-----------	--	--	--

関係団体（事業）負担金 404千円
 北東北三県観光立県推進協議会国際観光部会負担金 104千円
 日本政府観光局（JNTO）賛助団体負担金 300千円
 商談会等出席負担金 0千円

外国人観光客誘致促進事業 4,500千円
 事業主体：花巻観光協会
 事業内容：国内外のインバウンド商談会や旅行博、エージェンツセールスの実施
 フェイスブックやウェイボー等SNSによる多言語での海外向け情報発信
 訪日外国人への観光案内業務の実施

国内外の商談会への参加 0千円
 観光協会と連携して国内外の商談会へ参加

外国人観光客広域誘致業務委託 0千円
 滞在コンテンツ充実強化
 ・滞在コンテンツを活用したツアーの造成及び広告宣伝、販売強化

公共施設等外国人観光客受入環境整備 8,485千円
 ・観光地の公衆トイレ洋式化（台温泉、重話村等6か所15基） 8,485千円
 ・訪日外国人観光案内所の非常用電源（蓄電池システム）の整備（2か所） 不採択 0千円

外国人観光客受入環境整備 291千円
 音声翻訳機リース料（市内観光関連公共施設11か所分） 290千円
 キャッシュレス決済にかかる事業者への諸手数料（8か所分） 1千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174400	外国人観光客誘致促進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3